

□□□□ □□ □□ □□□□ | □□□□□□ □□ □□

[Home](#)

>

[□□□□□□.□□](#)

>

□□□□ □□ □□ □□□

- [□□□.□□.□](#)
- [□□□□□□.□□.□](#)
- [□□□.□□.□□□□□□](#)
- [□□□□□ □□.□](#)
- [□□□□□ □□.□](#)
- [□□□□□□□□□ □□](#)
- [□□□□□□□□.□□.□](#)
- [□□□□□□□□ □□.□](#)
- [□□ □□.□□□□□□□□](#)
- [□□□□□□.□□.□](#)
- [□□□□□□□□ □□](#)
- [□□□□□□](#)
- [□□□□□□](#)
- [□□□□□□ □□](#)
- [□□□□□□ □□ □□](#)
- [□□□□□□ □□ □□ □□](#)
- [□□□□□□□□ □□](#)
- [□□□□□□ □□](#)
- [□□□□□□.□](#)
- [□□ □□](#)
- [□□ □□.□□□□□□](#)
- [□□ □□.□□](#)
- [□□ □□.□](#)
- [□□ □□ □□□□](#)
- [□□ □□.□□□□](#)
- [□□□□□□□□ □□](#)
- [□□□□□□□□.□□□□□□](#)
- [□□□□□□.□□.□](#)
- [□□□□□□.□](#)
- [□□□□□□□□.□](#)
- [□□□□□□.□](#)
- [□□ □□](#)
- [□□□□□□ □□ □□□□](#)
- [□ □□□.□□](#)
- [□□□□□□□□ □□](#)
- [□□ □□](#)
- [□□ □□](#)
- [□□□□□□ □□](#)



- [蛋白質の構造](#)
- [酵素の反応](#)
- [細胞の機能](#)
- [遺伝子の発現](#)
- [免疫の仕組み](#)
- [がんの発生](#)
- [神経伝達物質](#)
- [ホルモン](#)
- [骨の形成](#)
- [皮膚のバリア](#)
- [腸内細菌叢](#)
- [老化のメカニズム](#)
- [再生医療](#)
- [個別化医療](#)
- [AIと医療](#)

2019-05-18

2019年5月18日、東京大学で「蛋白質の構造と機能に関する国際会議」が開催された。この会議では、最新の研究成果や、今後の研究の方向性について議論が行われた。また、この機会に、東京大学の研究者と、海外の研究者との交流も盛んに行われた。

この会議では、蛋白質の構造と機能に関する最新の研究成果が発表された。特に、蛋白質の構造解析技術の進歩が注目された。X線結晶解析やクライオ電子顕微鏡法などの技術の進歩により、蛋白質の原子レベルの構造が明らかになり、その機能を理解する上で重要な手がかりを得ることができた。

また、蛋白質の機能に関する研究も進んでいる。例えば、蛋白質の相互作用や、細胞内での役割に関する研究が盛んに行われている。これらの研究成果は、がんや神経疾患などの治療に役立つ可能性がある。

この会議では、東京大学の研究者と、海外の研究者との交流も盛んに行われた。特に、東京大学の研究者は、海外の研究者から多くの質問やコメントを受け、自身の研究成果について説明した。また、今後の研究の方向性について議論が行われ、協力関係を築くことができた。

この会議は、蛋白質の構造と機能に関する最新の研究成果を共有し、今後の研究の方向性について議論する上で重要な機会となった。また、東京大学の研究者と、海外の研究者との交流も盛んに行われ、今後の研究の発展に貢献することが期待される。





